



六月末から七月初旬にかけて、日本アラブ文化連帯会議が行われることになっている。この「怒涛」が読者の手に渡る時は、その途中か、終幕時ということになるだろう。怒涛編集局では、この会議が、これまでのアジア・アフリカ作家会議の歴史を踏襲して持っている意味の大きさを注目を集めた。また、現在の、パレスチナ人民の「民主的パレスチナ国家建設」の革命闘争の状況から言っても、この会議が果敢と政治的役割は大きなものにならざるを得ない。この会議が日見主義的なものに墮すことには反対し、パレスチナ人民・アラブ人民の革命的闘争と、人

編集局一はじめに、パレスチナの闘争と問題となつてい「パレスチナ国家」構想である。この「パレスチナ国家」構想の性格をどう捉えておきたいのかが、この「怒涛」の重要なポイントである。六月末から七月初旬にかけて、日本アラブ文化連帯会議が行われることになっている。この「怒涛」が読者の手に渡る時は、その途中か、終幕時ということになるだろう。怒涛編集局では、この会議が、これまでのアジア・アフリカ作家会議の歴史を踏襲して持っている意味の大きさを注目を集めた。また、現在の、パレスチナ人民の「民主的パレスチナ国家建設」の革命闘争の状況から言っても、この会議が果敢と政治的役割は大きなものにならざるを得ない。この会議が日見主義的なものに墮すことには反対し、パレスチナ人民・アラブ人民の革命的闘争と、人

民自身の生活から築かれた文学・文化の発展に連帯する立場から、またアラブ人民と日本人の戦いの連帯を固める立場からこうした集いが勝ちとられていくことをわれわれは期待する。その意味で、この会議では特に、二八日に行われる「東京集会」に向けて、パレスチナ人民の革命闘争に対する基本的な態度がどうしても明確なものにされていかなければならない。編集局では、この立場から、パレスチナ人民支援センター(P支と略す)事務局とのインタヴューを行って、問題点を少しして明らかにしたいと考えた。(インタヴューは集會前に行われた。)

パレスチナ革命勢力 イスラエル・シオニストに対する 攻撃を急速に拡大 —ニクソン中東訪問に痛打—

四月十日のキャルト・シヤモウナ植民地攻撃、五月十五日のマリット攻撃、五月十五日のエルサレムなどでの闘争、六月三日のシャミールキップツでの闘争を含めて多くの戦場が占領地域内で強化されている。

六月二日のナハラアに対する攻撃は、商業新聞で「穏健派アルファタも参加」などと伝え、シオニストによるパレスチナ人民攻撃(「イスラエル」内外で無差別的にエスカレートされてきているのだ)に反対し、これの「中東和平」策動に反対する断固とした大衆的決意を認めざるをえなくなっている。

前記のほか、五月下旬からこの戦果は次のようなものが

エチオ・日本鉱業会社 に関する資料

エトリリアの首都アスマラの南方三〇キロメートルにあるアババで、銅山が発見された。鉱石採掘権は日本の企業に与えられた。エチオピアの工業開発銀行がその日本企業と共に出資している。この開発銀行は資本金が一億エチオピア・ドルで、エチオピアにおけるすべての農業・

エトリリアの首都アスマラの南方三〇キロメートルにあるアババで、銅山が発見された。鉱石採掘権は日本の企業に与えられた。エチオピアの工業開発銀行がその日本企業と共に出資している。この開発銀行は資本金が一億エチオピア・ドルで、エチオピアにおけるすべての農業・

エトリリアの首都アスマラの南方三〇キロメートルにあるアババで、銅山が発見された。鉱石採掘権は日本の企業に与えられた。エチオピアの工業開発銀行がその日本企業と共に出資している。この開発銀行は資本金が一億エチオピア・ドルで、エチオピアにおけるすべての農業・

エトリリアの首都アスマラの南方三〇キロメートルにあるアババで、銅山が発見された。鉱石採掘権は日本の企業に与えられた。エチオピアの工業開発銀行がその日本企業と共に出資している。この開発銀行は資本金が一億エチオピア・ドルで、エチオピアにおけるすべての農業・

エトリリアの首都アスマラの南方三〇キロメートルにあるアババで、銅山が発見された。鉱石採掘権は日本の企業に与えられた。エチオピアの工業開発銀行がその日本企業と共に出資している。この開発銀行は資本金が一億エチオピア・ドルで、エチオピアにおけるすべての農業・

エトリリアの首都アスマラの南方三〇キロメートルにあるアババで、銅山が発見された。鉱石採掘権は日本の企業に与えられた。エチオピアの工業開発銀行がその日本企業と共に出資している。この開発銀行は資本金が一億エチオピア・ドルで、エチオピアにおけるすべての農業・

訂正
七月三日広島九州4日九州集会